

KVK

2023冬号
通信

Creating Value with You

お客様とともに“快適な水まわり”を創造する。





代表取締役社長 末松 正幸

～安定的な収益体質の実現をめざして～

KVKグループは、様々な外部環境の変化のなかであっても、安定的に収益が確保できる体制の確立に取り組んでいます。

その取り組みと今後の方針などについて、

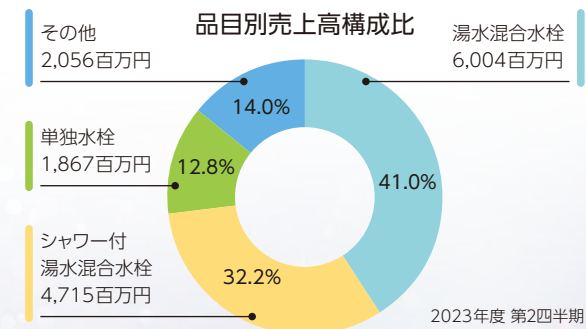
社長の末松正幸がご説明します。

上期を振り返って

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の正常化により、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかに回復してきておりますが、世界的な金融引き締めによる影響や中国経済の先行き懸念、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギー及び原材料価格の高騰など依然として先行き不透明な状況が続いております。住宅市場におきましては、物価高や建築資材価格の高騰に伴う住宅価格の上昇から、住宅取得マインドの低下などに伴い、持家、分譲住宅の新設住宅着工戸数は前年と比べて減少傾向が続くなど厳しい状況となりました。こうしたなか当社グループでは、昨年10月に実施した商品価格の値上げによる効果により、売上高は3期連続増収となり昨年に続き過去最高を更新し14,643百万円(前年同期比1.8%増)となりました。それ

に伴い利益面では、営業利益は1,102百万円(前年同期比39.0%増)、経常利益は1,125百万円(前年同期比33.4%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、708百万円(前年同期比24.9%増)となりました。

引き続き主力事業の収益力向上に取り組み、持続的成長と高収益体質の実現をめざしてまいります。



中国・アジア市場での販売力強化

中国・アジア市場での販売を成長戦略と位置づけ、6月に上海において開催された世界最大規模の「第28回中国国際キッチン&バス設備展覧会」に出展しました。当社は、「和」をテーマにデザインされたブースに、オーバーヘッドシャワー、ウルトラファインバブルシャワー「hadamo」、撥水パワーサーモ水栓、センサー式シングルレバー水栓など

を出品しました。ウルトラファインバブルシャワーは実際に通水し、標準シャワーとの肌触りの違いを体感していただきました。また、当社独自のナノテクノロジーによる撥水膜コーティングの体験コーナーを設け、撥水効果を実際に体験していただきました。「Made in Japan」の高機能、高品質を体感したお客様からは高い評価をいただきました。



コージェネレーションシステムおよび太陽光発電の稼働

生産能力増強のための新工場棟増設に際して、送電線の能力不足による電力供給上限がネックとなっていました。新たに電力を受電するためには、専用の送電線と工場に電力を取り込むための受変電設備の設置など大掛かりな工事が必要であり、時間も費用もかかることから、環境面、生産面に有効なコージェネレーションシステム設備および太陽光発電パネルの導入が最適と判断しました。

当社の場合は、LNGガス(液化天然ガス)を燃料としてガスエンジンにて発電し、工場に電気を供給すると同時に、ガスエンジンから発生する熱を活用し蒸気を発生させ、めっき装置に利用しています。このように熱を廃棄せず利用することで高いエネルギー効率を実現させ、省エネ効果を高め二酸化炭素排出量削減に貢献します。

当設備は、今年の春より稼働始めております。総使用電力の内、コージェネレーションシステム設備で約30%、太陽光発電パネルで約10%の電力をまかなっています。太陽光発電パネルは、昼間の晴天時には総使用電力の最

大30%ほど供給できる能力があります。また、両設備の環境面での年間効果としては、当社における昨年度の年間の二酸化炭素排出量実績ベースの約8%にあたる、およそ600tの削減が見込めます。エネルギー使用量と二酸化炭素排出量の削減に努め、コストと環境の両面に寄与していきます。

生産能力増強のための新工場棟2棟は、本格稼働に向けて着実に準備が進んでおります。新工場棟の活用と共に、受注から調達・生産・出荷・納品まで全工程にわたり各部門が連携し、お客様の手元へ“さらにタイミングよく”お届けできる高効率な生産体制づくりを進めてまいります。

コージェネレーションシステム



太陽光発電パネル



キッチン用W(ダブル)センサー付シングルレバー水栓

キッチンでの家事において汚れた手で水栓に触れたくない、という要望があり、手をかざすだけで水を出し止めるセンサー付水栓が求められています。当社より発売しているビルトイン浄水器用センサー付シングルシャワー混合栓は、センサーにより原水の出し止めを行うことが出来ますが、浄水の吐水に関しては浄水レバーを手で操作し出し止めていました。さらに衛生面や使い勝手を考慮し、原水だけでなく浄水もセンサーにて出し止めを行うことが出来る、新たな機能を追加し発売しました。レバーに直接触れる回数を最小限に抑え、原水・浄水を瞬時に使い分けられることができるため、衛生面だけでなくキッチンでの家事の作業性も向上させることができます。また、AC100V仕様と電池仕様があり、電池仕様であれば

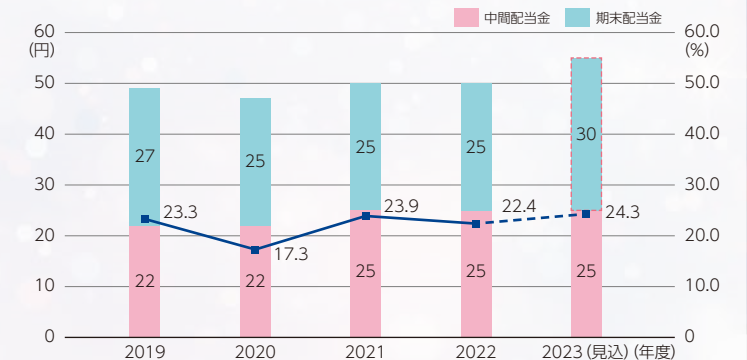
コンセントの無い場所でも設置可能で、新築だけでなくリフォーム需要にも対応しています。これからもお客様の声を活かした製品づくりに努め、お客様の期待を超える商品やサービスを生み出し続けていきたいと考えています。



株主還元について

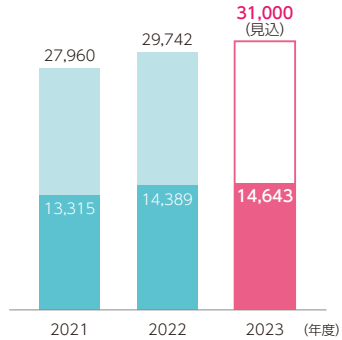
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけ、次なる成長への投資に必要な内部留保などを勘案しつつ、業績に応じて株主還元に充てることを利益配分の基本的な考え方としております。中間配当につきましては、2023年5月11日に公表の通り1株当たり25円とさせていただきます。なお、期末配当につきましては、通常配当にKVK創業85周年記念配当5円を予定しております。

1株当たり配当金/連結配当性向の推移

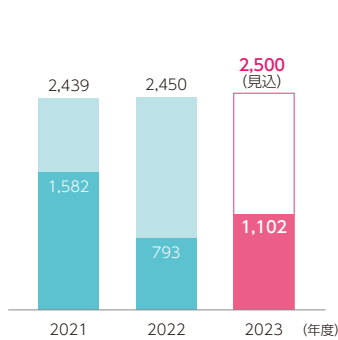


※2019年度は大連北村閥門有限公司設立30周年記念配当5円を含みます。
 ※2023年度(見込)はKVK創業85周年記念配当5円を含みます。

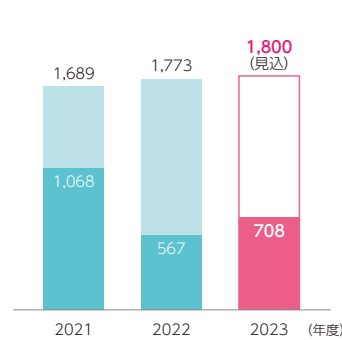
売上高 (百万円)



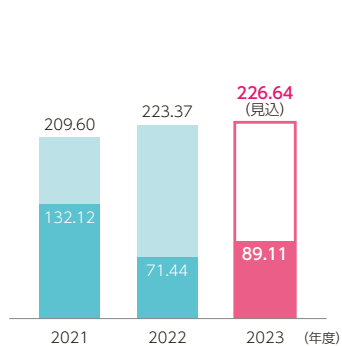
営業利益 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)

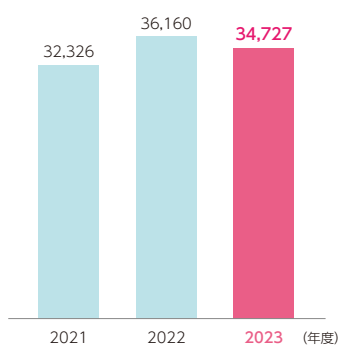


1株当たり四半期(当期)純利益(EPS) (円)

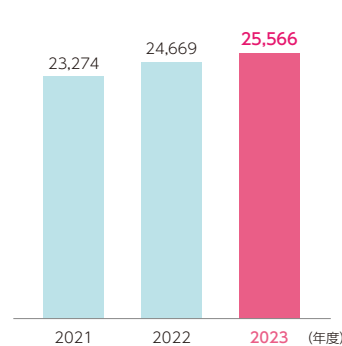


※期中平均発行済株式総数(自己株式数除く)で算出しています。

総資産 (百万円)



自己資本 (百万円)



売上高

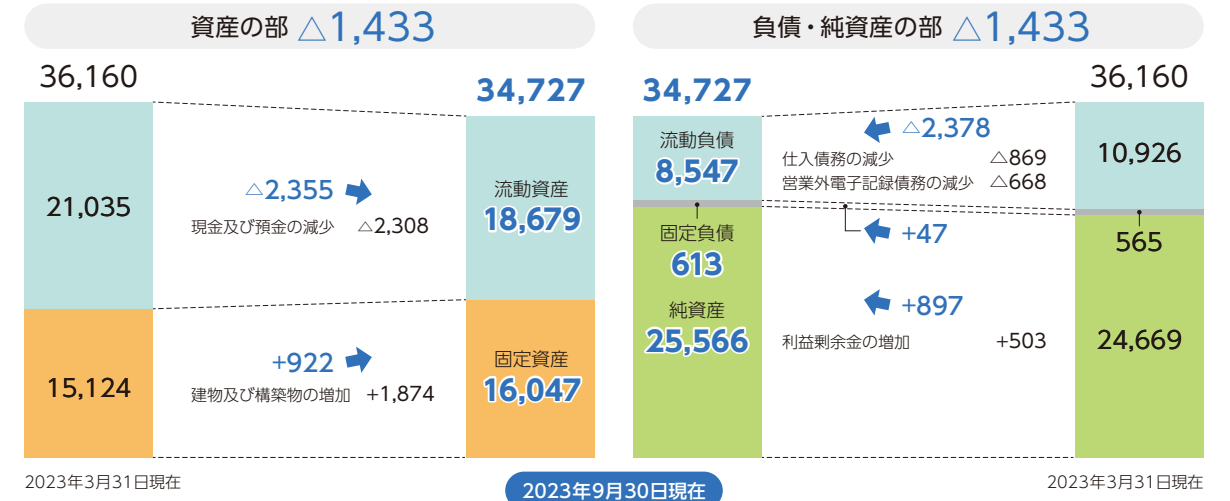
新設住宅着工戸数が前年比で減少傾向が続き、市況は厳しい状況ではありますが、昨年10月に実施した商品価格の値上げによる効果により、前期に比べ254百万円増加し、14,643百万円となりました。

営業利益

売上高と同様、昨年10月に実施した商品価格の値上げによる効果により、前期に比べ309百万円増加し、1,102百万円となりました。

※見直しに関する注意事項：業績の見直しは現時点での予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。様々な要因により、変動する可能性があります。 ※記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。 ※百分率(%)は小数点第二位を四捨五入して表示しています。

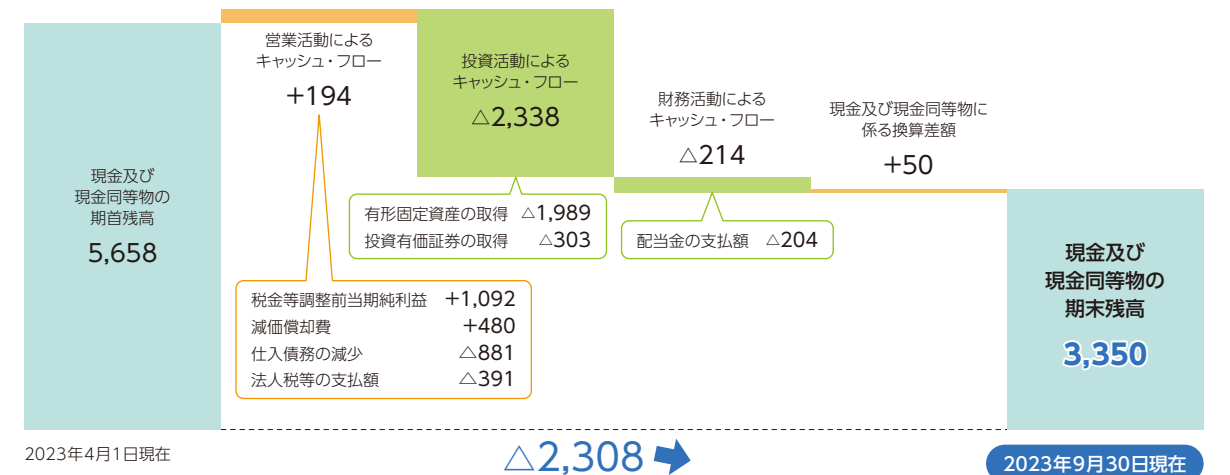
四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



流動資産・流動負債/純資産の部

流動比率は、前期末に比べ、26.0ポイント増加し、218.5%となりました。自己資本比率は、前期末に比べ、5.4ポイント増加し、73.6%となりました。1株当たり純資産額は100円95銭増加し、3,207円8銭となりました。

四半期キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



※記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。

コージェネレーションシステム および太陽光発電の稼働

新工場棟の建築と同時にコージェネレーションシステム設備および太陽光発電パネルの設置を行い、今年の春より稼働し始めています。その設備について生産技術二課長の中川友博氏に話を聞きました。



生産技術部生産技術二課
課長 中川 友博

導入経緯について教えてください

生産能力増強のための新工場棟増設に際して電力不足となり、特別高圧を契約することも考えましたが、専用の送電線や受変電設備を設置するなど大掛かりな工事が必要であり、時間も費用もかかることから、環境面、生産面に有効なコージェネレーションシステム設備の導入が最適と判断しました。また、環境面、コスト面、安定供給を考え新工場棟の工事と合わせて工事すれば設置コストも抑えられることもあり、太陽光発電パネルも導入することとしました。

導入に際し、苦労したことは？

電力供給ソースとして、購入電力、コージェネレーションシステム設備、太陽光発電パネルがありますが、工場にいかに安定供給できるか、また環境面のことも考えながら、工場の消費電力に対しての電力供給量の最適なバランスをシミュレーションするのに苦労しました。試運転を重ねながら稼働条件の調整を行いました。

KVKではどのように活用していますか

当社の場合は、LNGガス（液化天然ガス）を燃料としてガスエンジンにて発電し、工場に電気を供給すると同時に、ガスエンジンから発

生する熱を活用し蒸気を生産させ、めっき装置にて利用しています。新工場棟稼働に向けて電力不足を補いながら蒸気を有効活用します。総使用電力の内、コージェネレーションシステム設備で約30%、太陽光発電パネルで約10%の電力をまかなっています。

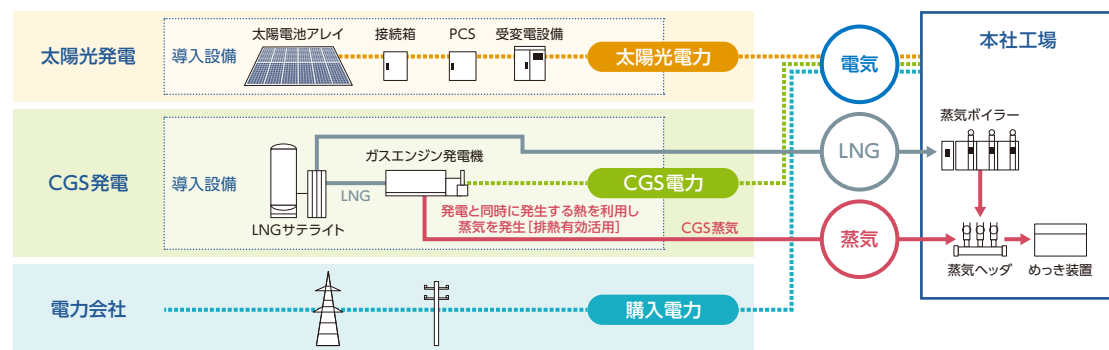
環境面へどのように寄与していますか

熱を廃棄せずに利用することで高いエネルギー効率を実現させ省エネ効果を高め、二酸化炭素排出量削減に貢献します。太陽光発電による効果も含めて年間でおおよそ600tの削減効果を見込んでいます。今後、新工場棟が本稼働すれば、より削減効果が見込めます。コストと環境の両面に寄与していきたいと考えています。

今後の展開について教えてください

まずは、設備が安定稼働できるよう、日常点検、日々の監視をしっかりやっていきたいです。本年度の実際稼働状況を見ながら、より環境面、コスト面に最適な稼働条件を見極めていきたいと思います。また、さらなる工場電力増加に備えて、太陽光発電パネルの増設を検討していきたいと考えています。

本社工場電力供給フロー図



ビルトイン浄水器用 シングルシャワー付混合栓 (Wセンサー付)

新発売



KM6092SCEC

開発の経緯・背景

- 非接触のセンサー水栓の需要は高い状態が続いている
- 販売中の「ビルトイン浄水器用シングルシャワー付混合栓（センサー付）」は浄水側の吐水は手動で行う仕様のため、水栓をキレイに保つために浄水側の吐水もセンサーにしたいとの要望があった

浄水側・原水側ともにセンサーで吐水できる水栓を開発

商品の特長

KVK初! Wセンサー水栓

- センサースイッチをパイプの左右に搭載したことにより、浄水側・原水側ともにセンサーに手をかざすだけで吐水ができるようになりました!

2種類の吐水

- タンブラー式のボタン切り替えにより、シャワー吐水とストレート吐水の切り替えができます。また、コンパクトなシャワーヘッドは引き出し可能です。



様々なキッチンへの対応

- 電源はACタイプと電池タイプの2種類のタイプがあり、水栓+浄水カートリッジセットまたは水栓単体での販売になり、様々なキッチンに対応することができます。

VOICE 営業の声



営業推進部営業企画課
主任 川田 ひとみ

アピール
ポイント

KVKでは初めての試みとして、2つのセンサーをパイプの左右に搭載した水栓です。浄水・原水ともに吐水の操作ができるようになりました。2つのセンサーが搭載され、水栓に直接触れることが従来品より減ったことで、より水栓をキレイに保つことができます! また、センサーで吐水することでエネルギー使用量を削減することができ、家庭にも地球環境にも優しい節湯水栓です! さらに、広い空間があるグースネックタイプのため、大きな鍋やフライパンが洗いやすいです。ホースは引き出し式のため、シンクを洗い流す時にも便利です。より快適な水まわりを体感してみてください!

会社概要

2023年9月30日現在

商号	株式会社KVK KVK CORPORATION
創業	1939年2月5日
設立	1949年1月25日
資本金	28億 5,493万 4千円
主要営業品目	1. 水栓金具 サーモスタット式シャワー・湯水混合水栓 シングルレバー式シャワー・湯水混合水栓 定量止水付サーモスタット式シャワー・湯水混合水栓 2. 継手、排水金具 3. 水栓部品
本社	岐阜県加茂郡富加町高畑字稲荷641番地 〒501-3304 Tel (0574) 55-1120
工場	本社・飛騨古川
支社	東北・関東・関西・西日本
営業所	札幌・盛岡・仙台・宇都宮・さいたま・千葉・東京・東京特需・横浜・多摩・名古屋・大阪・大阪特需・岡山・広島・福岡・鹿児島
出張所	つくば・新潟・静岡・北陸・京滋・神戸
従業員数	825名(1,262名)
子会社	大連北村閥門有限公司(中国)・KVK PHILIPPINES, INC.
役員	代表取締役社長 末松 正幸 取締役 坪田 充夫 取締役 長濱 卓美 取締役 北川 喜一 取締役 竹中 智 取締役 須藤 崇宏 取締役(社外) 奥田 真之 取締役(社外) 山田 晋也 常勤監査役 恒川 哲也 監査役(社外) 杉浦 勝美 監査役(社外) 森 裕之

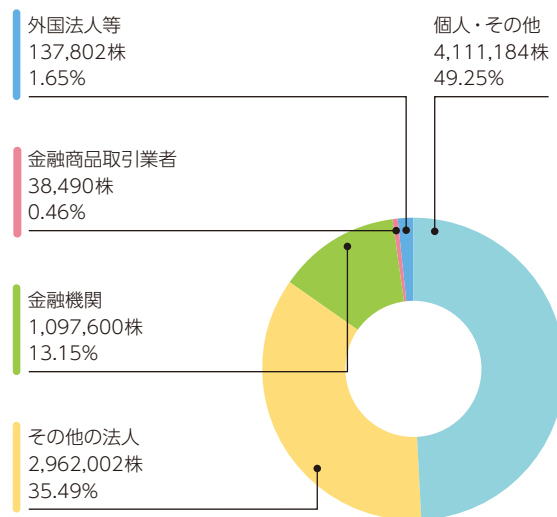
(注)1. 単独の従業員数には、当社から他社への出向者を除いています。また、連結・単独の従業員数には、臨時社員を含めています。
2. すべての社外取締役および社外監査役を国内の金融商品取引所が定める独立役員として指定しています。

株式の状況

2023年9月30日現在

株式の総数	発行可能株式総数	23,120,500株
	発行済株式の総数	8,347,078株
株主数	1,474名	
大株主	株主名	持株数(百株) 持株比率(%)
	有限会社北村興産	11,324 13.81
	KVK取引先持株会	5,481 6.68
	株式会社十六銀行	4,000 4.88
	岐阜信用金庫	2,935 3.58
	北村博志	2,895 3.53
	北村嘉弘	2,855 3.48
	末松容子	2,785 3.39
	元気なぎふ応援基金	2,695 3.28
	KVK従業員持株会	2,320 2.83
	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,248 2.74

所有者別株式分布状況



(注)1. 大株主の持株比率は、自己株式(150,394株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
2. 株式会社日本カストディ銀行(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は224,800株であり、役員向け株式交付信託が保有する当社株式199,900株、従業員向け株式交付信託が保有する当社株式24,900株が含まれています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会の基準日	3月31日(その他必要のある場合は、あらかじめ公告した日)
配当の基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ※掲載先インターネットホームページ https://www.kvk.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関するお問い合わせ先

株主様の住所変更、買取請求など各種お手続きの窓口につきましては、株式のご所有状況によって異なりますので、ご注意ください。

株式のご所有状況	お問い合わせ先
証券会社等の口座をご利用の場合	お取引口座のある証券会社等
「特別口座」に記録されている場合	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行 証券代行部 Tel : 0120-782-031 (通話料無料)

※支払期間経過後の配当金に関するお問い合わせは、三井住友信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせいたします。

株主優待制度のご案内

2024年3月31日現在の株主名簿に記録された株主様

優待内容

所有株式数100株以上
当社製品を優待価格でご提供*

所有株式数500株以上
● 3,000円相当の入浴用品
+
当社製品を優待価格でご提供*



※2024年度優待価格対象製品



シャワーヘッド

hadamo ウルトラ
ファインバブルシャワーヘッド
PZS370



シャワーヘッド

hadamo ウルトラ
ファインバブルシャワーヘッド
PZS370T



浴室

サーモスタット式シャワー
(Eシャワー Nf 撥水膜コーティング)
KF800THS



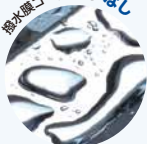
キッチン

シングルシャワー付
混合栓 (センサー付)
KM5021TDECHS

撥水テクノロジー

いつでも ピカピカ

撥水膜コーティングなし



撥水膜コーティングあり



撥水膜コーティングが水を弾くから、
ボディや吐水口などに水アカや汚れが付着しにくい!

お手入れ ラクラク

撥水膜コーティングなし



撥水膜コーティングあり



水アカや汚れがついても、サッとキレイに拭き取れるから
お掃除もカンタン! ※水栓のふき掃除を適度に行ってください。

ずっと キラキラ

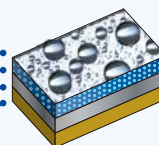
撥水膜コーティング

水をはじく撥水効果

特殊コーティング面

メッキ面

水栓素地



撥水膜コーティングの耐久性は、
1万回の拭き取りテストで証明済み。輝き長持ち! ※自社実験

hadamo®

3種類のシャワー吐水を搭載
すべてファインバブルが
発生します。

ミストシャワー



スポットシャワー



レギュラーシャワー



株式会社KVK



証券コード 6484

本社：〒501-3304 岐阜県加茂郡富加町高畑字稻荷641番地
Tel.(0574) 55-1120 (代表)
株主事務：Tel.(0574) 55-0005
URL <https://www.kvk.co.jp/>



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。